

Aras Case Study

Aras ケーススタディ

世界中の企業が、御社のような業界のリーディングカンパニーがどのように Aras を活用しているのか知りたがっています。お客様からのご意見は非常に重要なため、お客様の Aras の活用経験を共有いただく代わりに、我々からディスカウントをご用意させていただきます。

Aras のケーススタディを提供いただいたお客様には、契約期間（更新時も適用）のサブスクリプションに対する 10% のディスカウントをご提供いたします。

御社がどのように Aras Innovator を使用されているか、当ソフトウェアによってどのようなプロセスが自動化されているかに関する短い記事を、簡潔な御社の概要と共にまとめていただくものがケーススタディです。記事には事実に基づいた概要レベルの内容で、機密情報や専有情報は含まれません。

お客様に割いていただく貴重な時間を最小限にするため、当プログラムを効率的に構造化しました。お客様からご協力の意思と内容について Aras にお伝えいただければ、まず我々がケーススタディの原稿を作成します。その内容についてお客様に同意及び承認頂く形となります。

ケーススタディ条項が双方で同意され、注文日又は Aras のサブスクリプション契約の締結日(PO が発行されない場合)より 1 年以内に、ケーススタディの内容への最終承認がなされることを、ディスカウントの適用条件とさせていただきます。

Sample Case Study

ケーススタディ例

以下は実際の Aras ケーススタディです。

ユビダイン (Ubidyne) が Aras のプロダクトライフサイクルマネジメントで製品イノベーションを実現

ユビダインはワイヤレスコミュニケーション業界におけるアンテナ埋め込みラジオ技術のリーダーです。ユビダインの革新的なアンテナシステムは、同軸給電線、遠隔チルト制御装置、結合機、受動アンテナ、アンテナ塔やタワーの増幅機の必要性を無くします。結果として、ユビダインの技術はエネルギー消費を大幅に削減させ、ラジオのパフォーマンス、対象範囲、展開の柔軟性、携帯通信ネットワークを世界的に向上させています。

ドイツのウルムに本社を、アメリカと中国に支社を構え、世界中に開発パートナーを持つユビダインは、その複雑な技術を迅速かつ効率的に開発できるコラボレーティブな環境を必要としていました。

ユビダインは、製品開発の管理及び監視、製品情報への継続的なアクセス、複雑な製品設定とリビジョンレベルの管理が可能な単一プラットフォームを、従業員とパートナーに使用させたいと考えていました。複数の選択肢を評価した後、ユビダインは Aras の PLM ソリューションスイートを採用しました。Aras が選択された理由は、プログラムマネジメント、製品エンジニアリング、品質計画、カスタムワークフローの編集が容易なグラフィカルな統合ワークフローエディタなど、その包括的で優れた機能にあります。また、柔軟なアーキテクチャー、展開の容易性、先行投資が不要な低コストなどといった Aras の特徴も大きな理由でした。さらに、Aras はマイクロソフトプラットフォーム上で稼動する完全に Web ベースの製品なので、ユビダインは既存のインフラを有効活用でき、PLM システム導入に関する支出を抑えることが可能でした。

ユビダインはまず、Aras が実施するワークショッププロセスにて、ユーザーインターフェース要件、ロールと役割を定義するところから始めました。その後わずか 90 日間という期間で、Aras Innovator の本番稼動を迎えました。フェーズ 1 では、レビュー、承認、世代管理を含んだドキュメント管理、BOM 管理、エンタープライズ変更管理が対象でした。プロジェクト計画プロセスにも僅かな時間を割くことで、ユーザーの要望を満たし、個別プログラム及び全体的な製品開発プロセスを支援するソリューションを展開しました。

今日では、エンジニアリング、品質管理、試作、経営その他の部署を含む企業全体に Aras PLM が展開し活用されています。プロセスの自動化とワークフローの活用によって、ユビダインは製品開発プロセスを改善し、より質の高い製品を、短い時間で市場へ投入することが可能となりました。経営陣は全ての製品関連情報をセキュアで単一のビューから閲覧し、それらの情報をドリルダウンしてデータシート、BOM 及び BOM 構造、発注部品、バージョンアップ、オプション、営業ブローシャー情報として活用しています。図面や技術仕様書などのドキュメント類は集約化され、全ての従業員やパートナーが利用できるようになっています。設計及びエンジニアリング変更はドキュメント化され、製品変更履歴によって開発中の変更を表示したり、バージョン管理によって全員が正しい情報に従って作業したりすることが可能となりました。

将来に向け、ユビダインは Aras の導入を更に拡張して行く予定です。新システムと Aras を連携させようと、現在 ERP システムの評価を行っています。また、CAD 統合や、パートナー及びサプライヤーとのデータ交換の自動化、要求管理や全社的な品質計画も計画されています。「Aras のモデルでは、まずは最小限の投資で小さくスタートし、徐々に PLM の導入を拡大させて行くことができます。」とユビダインのシステムテストマネージャである Thomas Hartmann は述べています。「Aras では、新しい機能を導入し、多くのプロセスをマッピングさせることが可能です。追加購入の心配もありませんでした。」